

史料群番号 48

史料群名	みなとまち 湊町文書	旧所蔵者	不明
探訪時住所	(新潟県佐渡郡両津町)		
現在の住所	新潟県佐渡市		
探訪年月	不明		
史料の年代	明治2 (1869) 年～大正8 (1919) 年	史料の 総点数	85点
年代の内訳	近代 85点	筆写稿本	なし
既刊行目録	なし		

収蔵にいたる経緯

探訪に関する書類はなく、詳細は不明である。宛名として中村とあるものが多く、明治40年代に両津町湊町区長として史料に現れる中村喜一郎氏の家に伝来したものか、湊町区あるいはそれ以前の湊町役場に伝来したものかのどちらかであろう。

史料群の概要

佐渡郡湊町は、近世から明治33年まで存続し、その後夷（えびす）町と合併して両津町となり、昭和29年に両津市、現在は佐渡市になっている。加茂湖にある二つの湊が、それぞれ湊町と夷町を形成、後に合併して「両津」の由来となった。近世より鱈、烏賊漁などが盛んに行われており、後にはスケト延縄漁が拡大し、湊町、夷町ともに漁業の拠点を形成していた。

本史料群には、湊町あるいは夷町の全図や屋敷町の図など17枚の絵図・地図が含まれている。また、明治16年に新潟県令の指示で、寺社の信徒を調べた報告書も10通ほど残されている。漁業に関するものは皆無といってよい。

